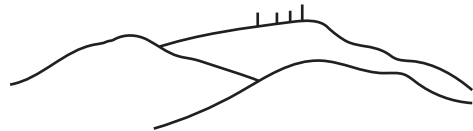


Youth Manna

2019/2/11 - 2/17



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/2/11(月)

ガラテヤ 2:11-21

ペテロは、異邦人も救われてユダヤ人と同じ神様の家族になることを神様から示されたのに、律法を守らなければ救われないとする割礼派の人々を恐れて、異邦人から身を引いて離れてしまいました。人への恐れから、イエス様の愛と恵みを忘れてしまったかのような自分に戻ってしまう経験はないだろうか？自分の中に恐れがあるのか、それとも愛があるのかをいつも確認しよう！

そして、イエス様が自分の罪のために死なれたことを信じるのであれば、今の救われてここにあるいのちは、もはや自分のものではないということなんだ。君はこのいのちをどう使う？自分のためか、それとも神様のためか！？日々の生活において自分に問おう！

2019/2/12(火)

ガラテヤ 3:1-14

ユダヤ人は選民であり神様から直接律法を貰った特別な民という誇りを持っていて、異邦人つまり外国人が救われるということ信じることが難しかったんだ。だからパウロは救われ御霊を受けるのは、律法を守ったり、何かをすることによってではなく、イエス様を信じる信仰によってなると繰り返し伝えただよ。私たちの救いも家族や友人が信じてるからとか、昔から教会に行っているからとかではなく、一人ひとりがイエス様こそ罪からの救い主であり自分のために十字架にかかって下さった方だと信じるから救われるんだよね！！感謝しよう！何が出来るからではなく、罪を認める信仰によって救われることを！

2019/2/13(水)

ガラテヤ 3:15-29

救いの約束は、律法によるのではなく、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人々に与えられる。神様は、アブラハムの時代から相続の恵み、神からの祝福を受け継ぐ恵みの約束をお与えになった。私たちは、律法によって自分が罪人であることを知り、イエス様に導かれ、イエス様への信仰を表明して、神様の約束された祝福を受け継ぐ「神の子ども」とされる。私たちは「キリストを着た」者たちとしてイエス様と一つとされているからである。

☞ 約束の相続人とされた恵みを今日、知ることが出来ますように。神の子供して、今日もイエス様と一緒に歩むものとさせてください。

2019/2/14(木)

ガラテヤ 4:1-20

私たちは様々なものの奴隷になっただけではなかったでしょうか。それはモノだったり人だったり、神ではないものを一番にしたりすることです。

しかし、キリストという十字架の尊い身代金を払って私たちは買い戻されました。だからこそ私たちはキリスト者として、神様の教えに基づいて生きる必要があります。

たとえどのような立場に置かれていても、少しでもキリストに近づくことを目指して歩もう！！

2019/2/15(金)

ガラテヤ 4:21-31

今日は肉によって生まれる子と、約束によって生まれる子が何を表しているか解き明かすような箇所です。肉とはこの世のものであり、天に積まれるものではなく、当然神様に近づけるものではありません。それに対して約束とは信じる信仰によって救われる事です。何か結果を出さないと天国に行けない訳ではなく、目には見えない信仰によって天に私達の名が刻まれます！

自分が神様に従っていないから祈りが聞かれないと思った事はないかな？また自分が良い行いをする事によって神様に近づくと考えてはいないかな？愛による行動が出来るようにと祈ろう！

2019/2/16(土)

ガラテヤ 5:1-12

今日の箇所は、割礼を受けるようにという教えを聞いているガラテヤの教会の人々にパウロがどうしたらよいか示して書いた手紙の場所だよ。私たち人はイエス様の十字架の死と復活によって救われたね。だからその救いを受け取り、イエス様に従って生きる時、当然従うべきこと、守った方がよいことがある。だけど、その従う行動や、命令を守っているから私たちに救いが与えられているわけではないよね。

私たちの罪からの救いは、イエス様の十字架だけで完成されているから、それを信じる以外、私たちが救われる条件はないんだ。ここでは割礼を受けることを救いの条件に入れる考えに対して、はっきり違うと言っている。「愛によって働く信仰」がイエス様であって大事なことなんだね。イエス様を愛して信じることを今日生活する中で、大切に考えてみよう！

2019/2/17(日)

ガラテヤ 5:13-26

私たちは愛をもって互いに仕え合うために、イエス様に従うために自由が与えられています。

でも私たちは、時に、従いたくないと思ったり、自分の思いを優先させて生きたくすることがよくあります。そのような時に私たちを助けてくださるのが、御霊なる神です。

私たちは御霊の助けがなければ、互いに愛し合うことはできません。自分たちの頑張りや肉の思いでは勝ち取ることが出来ないことも、御霊の助けがあれば出来ます。

どんな時にも、御霊が私を導いてくださいます！御霊が自分に溢れるほど注がれるように祈って、1日を始めよう！